

門祖日隆聖人物語 第3回



550

お 得 度

日本が、南北両統の二人の天皇を立てて争った室町南北朝時代。越中(富山県)で南朝方の武士として有名であった桃井家は、父親の尚儀公が、長男である門祖聖人をお寺に入れてお坊さんにされました。本日は、その得度のいきさつを見てみましょう。

ど、当時の書物には(太平記の後注)祖父に当たる斯波高経公に「日峰」の号(別の呼び名)があり、義将公に「法華堂」の号



日隆聖人の得度

応永三年(一三九六)五月十日、門祖日隆聖人はご実家のある越中(富山県)浅井にあった遠成寺に入り、住職の慶寿院日深師をお師匠さんに、得度することになるんだ。そして僧名を「深円」といだけられる。十二歳の時だよ。

お寺に入るについては、お父さんの尚儀公は反対されるんだ。それは桃井家は武家の家柄で、しかも有名だったし、戦争に敗れたけれども、家来もいたしお父さんにしてみたら、息子は武士として活躍してもらいたかったんだらうね。でも、門祖聖人が誕生された時から、お世話をされていた妙女は、熱心な法華経のご信者で、お父さんの尚儀公を説得するんだ。そして、門祖聖人に桃井家でお世話をする時から大事に持っていた小箱を渡すんだ。その箱の中には法華経の巻物が収められていたんだよ。

お母さんの益子様は、当時の室町幕府で管領という大きな役職をしていた斯波義将公の娘だったけれども、熱心な法華経のご信者と伝えられているんだ。しかも、斯波家の宗旨は禅宗だったといわれているけれど、

があつたと記されているんだ。日隆聖人が法華経のお寺で得度するについては、このような色々なつながりがあつたんだね。

しかし残念なことに、門祖聖人が得度して修行したという遠成寺というお寺は、今になってはどこにあるのかわからないのだよ。六百年という時の流れの間で消えてしまったんだね。

門祖日隆聖人は次男だったかも

門祖聖人は幼い時「長一丸」というお名前だったので、桃井家の長男と言われているけど、実は次男だったという言い伝えがあるんだ。

これは、門祖聖人のご実家・桃井家があつた場所にある誕生寺というお寺に伝わっている話なんだけれども、日隆聖人は次男である、というんだ。そしてこの誕生寺の紋(しるし)は、丸の中に雁が二羽飛んでいるものなんだよ。普通は、門祖聖人の紋は、丸の中に一羽の雁しかいないのに、二羽なんだ。しかも、下の雁はくちばしが開いている姿で、これは御題目を唱えているからなんだそう。

室町時代中期から、江戸時代の初めまで流行した曲舞に、幸若舞(太鼓や小鼓に合わせて謡い、立烏帽子姿で舞う舞曲)というのがある。その曲舞を創設したのが幸若丸(桃井直詮)という人で、織田信長が桶狭間の戦いに出発する時に「人間五十年、化天(下天)の内をくらぶれば、夢幻のごとくなり」と舞う姿は、時代劇などで見慣れているシーンだね。あれが幸若舞の代表作の一つ「敦盛」なんだ。実は、この桃井直詮という人が、日隆聖人の兄だという説もあるんだよ。

六百年も時間が経っているから、確かめようもないことなんだけれども、何かロマンを感じるエピソードだね。



誕生寺の紋(境内にある燈籠)

ニユウ短ス信

全国寺院の寺報・支庁広報から紹介します。

▼2支 大阪・清風寺
フットボール大会優勝
教務見習い中の石田蓮君は大阪産業大学付属高等学校スポーツ科に通う2年生。フットボール部の所属で、昨年末のフットボール全国大会で日本一に輝いた。石田君は毎朝5時から本堂御宝前のお給仕をして学校へ。部活を終えて帰山すると夜10時近く。高校生でも教務見習いとして立派にご奉公に当たっている。

▼2支 大阪・信光寺
第2期勸財事業始まる
昨年の会議で承認された会館リニューアル工事が1月7日より着工。法宅、会館の各階、渡り廊下、E住宅をそれぞれ改修する。工事期間中は、通行止めや使用禁止と不便をかけるが、ご理解ご協力のほどを。

▼4支 横浜・妙深寺
医学界新聞に掲載
週刊医学界新聞からの依頼で「変革期の今、社会資源としての看護職に期待される役割とは」のテーマで、看護協会の理事、現職の看護師、当山住職とで座談会が行われた。医療現場の苦勞やご信心の関心、仏教のなすべき役割、ありかたについて、勉強させられる対談となっている。

▼5支 東京・乗泉寺
成人式を挙行
1月9日の11時より本堂にて成人式を挙行した。当日は10名の新成人の参

詣。御導師より無事成人の御礼と今後の身体健全とご奉公成就のご祈願を言上していただいた。

▼7支 盛岡・広宣寺
日赤より感謝状授与
昨年発生した東日本大震災の災害ボランティアに参加したとして、広宣寺(当山は盛岡市日赤十字奉仕団)とボランティア参加のご信者に日赤本社より感謝状が授与されたのでここに報告する。

▼7支 横手・広護寺
姉弟で特選受賞!
大曲教区の杉本清明さんの長女海音ちゃん(小4)と長男和進くん(小1)が、大仙市の第6回

席書大会と第48回大曲仙北児童生徒書き初め展に出品して、姉弟そろって両大会共、小学生の部で「特選」を受賞した。おめでとう。今後も益々、頑張ってください。

▼11支 神戸・本法寺
参道リニューアル
境内の参道リニューアル工事がほぼ完了し、以前にまして寺観が美しくなった。また、第二エレベーターの工事も順調に進んでいる。完成を楽しみにご奉公に励もう!

▼11支 神戸・大法寺
雨漏り補修工事終了
昨年の台風12、15号は各地に甚大な被害を及ぼしたが、当山も本堂、教務会館のあちこちに雨漏りが発生。阪神大震災の復旧工事から15年が経過しており、今回修繕補修の工事となった。施工は大坂清現寺のご信者・上田氏の大1防水工業(株)で、昨年12月2週間かけて無事工事を完了した。

(大法寺報・2月号)

(清風寺通信・2月号)

(信光寺報・2月号)

(清雄寺通信・2月号)

(妙深寺報・2月号)

(広宣寺報・2月号)

(乗泉寺通信・2月号)

(東洋寺報・2月号)

(東洋寺報・2月号)

(東洋寺報・2月号)

(東洋寺報・2月号)

御尊像謹刻 佛師

平安京 太秦佛所

友義康嗣

寺院御内陣莊嚴及御宝具
別注特製謹作設計施行

〒六六一八四一 京都市右京区太秦榎森町一〇一四〇
TEL: (075) 861-4641 (代)
FAX: (075) 881-1144

— 葬祭・式典 —

三浦葬祭

三浦立身
〒601-8305 京都市南区吉祥院西ノ庄瀬ノ西町41
Tel. (075) 322-0045(代)
Fax. (075) 322-0049

パンフレット・機関紙・社史
ビデオのデザイン印刷から、
ホームページ制作まで。
喜んで承ります。

創業明治元年—お客様の要望に技術で応える。

写真化学
メディアカンパニー
〒604-0847
京都市中京区烏丸通二条下ル秋野々町 518 番地
TEL: (075) 254-7899 (代)
京都 大阪 東京 名古屋